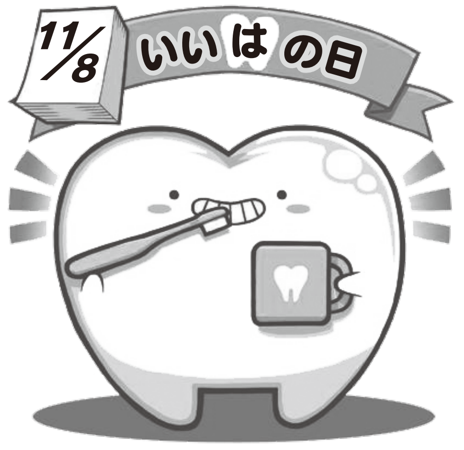
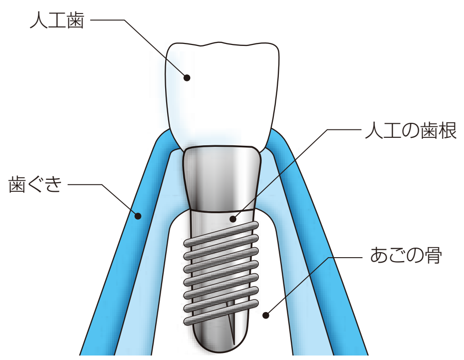


スマイル☺ライフ
～健康・福祉・子育て情報～

インプラントから学ぶ 歯周病予防

「インプラント」という言葉を耳にしたことがある人は多いでしょう。それだけインプラント治療も一般に浸透し、身近な存在になったと言えます。インプラントとは、歯を失ったところに人工の歯根（インプラント）を埋め込み、その上に人工の歯を取り付ける治療法です。



しかし、「インプラントは1度埋め込めば、一生何でも食べられる」「インプラントが悪くなることはない」「歯磨きを怠ると悪くなってしまうのは天然の歯の話で、インプラントは関係ない。何もしなくても大丈夫」と思っている人はいませんか。

とんでもありません。インプラントも病気になるのです。

天然の歯と歯ぐきとの境界から歯周病菌が浸入し、歯を支える組織を破壊して、最終的には歯が抜けてしまうのが「歯周病」ですが、インプラントも同じように歯周病菌の侵入によって「インプラント周囲炎」になりうる危険性があります。

インプラント歯周炎

口の中はからだの中でも数少ない「外界との交通部」が存在します。筋肉や神経は「皮膚」というバリアによって保護されています。もし、このバリアがなくてむき出しであったなら、筋肉や神経はたちまち空気中に存在する雑菌などによって感染し、炎症を起こしてしまいます。

歯はあごの骨から生えているため、どうしても歯と歯ぐきには境目、つまり「外界との交通部」があります。口の中が健全な状態なら、歯茎などの歯周組織がバリアの役割を果たし、ある程度の細菌侵入を阻止します。

歯周病菌に侵されてしまえば天然の歯であってもインプラントであっても、この交通部から感染し炎症を引き起こします。特に口の中は細菌が多く、閉ざされた空間でもあり、不潔な領域と言えます。

やっぱり大切なのは 毎日のケアとプロのケア

インプラント治療の前後に、歯石除去やブラッシング指導などを受けた経験のある人も多いと思います。それはあるいは末永くインプラントを機能させるため必須ともいえることです。

時々、「歯磨きやケアが面倒くさいからインプラントにした。それができていれば最初から歯が抜けたりはしていない」という意見を耳にすることもありますが、これは大変危険な考えです。インプラント歯周炎に罹患してしまえば、グラグラになって抜けてしまいます。

高いお金をかけてせっかく入れたインプラント。しっかりケアをして、末永く使いましょう。

35・40・50・60・65歳の人のための歯周疾患検診実施中

おいしいものを食べたり、人との会話を楽しんだり、生涯、自分の歯で健康的な生活を送りたいものです。お口の健康を維持するためには、若い頃からの毎日のケアと専門家による検査が大切です。

市では、歯周疾患検診を実施しています。対象の人は、この機会にぜひ受診しましょう。

●**検診内容**　お口の健康チェック、歯肉検査ブラッシング指導

●**対　象**　平成25年4月1日現在で35・40・50・60・65歳の人

※受診券は、事前に通知しています。

●**実施場所（要予約）**　市内委託歯科医院

●**料　金**　600円

※検診後に治療が必要な場合や歯石除去を希望する場合は、保険診療になります。

●**実施期間**　平成26年3月31日まで

●**持参するもの**　事前に通知したはがき（受診券）健康保険証

市内委託歯科医院

歯科医院名（行政区）	電話番号	歯科医院名（行政区）	電話番号
あくね歯科医院（小池）	242-6480	さかえ歯科医院（栄温泉団地）	248-6480
今村歯科医院（上須屋）	345-2264	サトゥデンタルクリニック（黒石原）	248-7155
菊南ハーモニー歯科クリニック（上須屋）	341-1182	城歯科医院（横町）	248-6464
千々岩歯科医院（新開）	242-4681	たなか歯科医院（武蔵野台）	248-3620
ながた歯科医院（西須屋団地）	344-2385	林田歯科クリニック（永江団地）	248-5088
永野歯科医院（上須屋）	343-0701	三隅歯科医院（武蔵野台）	248-1101
原田歯科医院（若原）	242-3285	宮川歯科医院（泉ヶ丘）	248-5524
はるの歯科クリニック（榎ノ本）	338-8100	わたなべ歯科医院（杉並台）	215-5701
伊藤歯科医院（武蔵野台）	248-5688		

受診者からはこんな声が届いています
～平成24年度歯周疾患検診受診者アンケートより～

自分の口の中の状態がある程度理解できました。（60代男性）

年齢からして、歯を大事にしていかないといけないので、定期的に治療したい。（60代女性）

改めて歯の大切さを考えさせられるので、よい機会だったと思います。なかなか歯は痛くならないと病院にかからないので…。（40代女性）

歯と歯ぐきをもう少し大切にしたいと思いました。（60代男性）

毎日のケアをしっかりしていこうと思いました。（60代女性）

なかなか受診するきっかけがないので、よい機会でした。一度専門医に診てもらえて安心しました。（30代女性）

丁寧な説明でわかりやすかったです。今後は定期的に検診を受けようと思います。（40代女性）

著）阿久根秀典　歯科医師

●問い合わせ先　健康づくり推進課　健康推進班（西合志庁舎）　☎242-1183